

特別支援学級における教育課程の編成に関するチェックリスト

学校全体に関すること		
1	☐	新学習指導要領の趣旨や内容を踏まえた特別の教育課程を編成・実施している
2	☐	管理職が特別の教育課程の編成について理解している
3	☐	特別の教育課程の編成について、学校の職員間で共通理解が図られている
特別支援学級全般に関すること		
1	☐	児童生徒の実態に合わせた特別の教育課程を編成・実施している
2	☐	年間授業時数を適切に定めている
3	☐	各教科等の授業時数を適切に定めている
4	☐	指導内容の精選・重点化を適切に行っている
5	☐	自立活動の指導を適切に行っている
6	☐	交流及び共同学習では、校内の協力体制の下、効果的な活動を行っている
7	☐	教材・教具やICT機器の活用は、児童生徒の実態に適している
8	☐	個別の指導計画を年間指導計画や学習指導案等の作成に活用している
主に自閉症・情緒障がい特別支援学級に関すること		
1	☐	知的障がいのない児童生徒の特別の教育課程を適切に編成している
2	☐	障がいの異なる特別支援学級との合同学習では、児童生徒の実態に応じて、適切な指導及び必要な支援を行っている
3	☐	児童生徒の学習状況に応じた評価及び評定を適切に行っている
4	☐	児童生徒の実態に応じた進路指導を適切に行っている
その他		
1	☐	特別の教育課程の実施に必要な人的・物的な体制を確保している
2	☐	保護者のニーズに対応したものになっている
3	☐	地域社会の期待に対応したものになっている

自校の特別支援学級における教育課程の編成について、上記のチェックリストや、Q & A 集（P42～）を活用して確認してみましょう。

